

Enjoy Sport Kart Series 2017

特 別 規 則 書

本大会は、参加型モータースポーツをめざし、多くの方が参加しやすく安全に楽しくモータースポーツを行うことを趣旨とし、カート競技規則とその付則ならびに本特別規則書を基に従って開催されます。本大会は参加者が協力し合い、上級者の方は初心者の方などに対する配慮等を出来るようにし“ルールとマナー”を尊重しながら、順位にこだわらず参加型モータースポーツを楽しむことを目的とします。



第 1 章 大会開催に関する事項

1 イベント開催場所・日程

	イベント時間	クラス (グリッド)	受付
1st オートパラダイス御殿場	4月16日	5時間耐久	EnjoyA/B/C r-kart
2nd 美浜サーキット	5月7日	5時間耐久	EnjoyA/B/C 美浜サーキット
3th 幸田サーキット	6月25日	5時間耐久	EnjoyA/B/C 幸田サーキット
4th タカスサーキット	9月24日	5時間耐久	EnjoyA/B/C タカスサーキット
final フェスティカサーキット瑞浪	11月12日	5時間耐久	EnjoyA/B/C フェスティカサーキット瑞浪
- 鈴鹿サーキット (南) Sport Kart Festival	12月3日	5時間耐久	EnjoyA/B/C r-kart

2 大会目標

- 1) 全チーム完走目標で、参加者全員がイベントを楽しみ、順位にこだわらず完走をめざせるイベントを目指します。
- 2) ペナルティが無くマナーのよいモータースポーツイベント作りを目指します。
- 3) 初めてモータースポーツイベントに参加する人でも、廻りの協力によって楽しく参加できるよう協力して下さい。
- 4) “ルールとマナー”は一人一人が考え、守っていくものです。他を中傷せず、まず自分がモータースポーツを楽しみましょう。

3 公式通知に関する規定

本規則に記載されていないイベント運営に関する実施の細目及びドライバーに対する指示細目は、本規則書付則及びイベント通知によって公示されます。なお、公示の方法は代表者にメール送信又はr-kartホームページ又はFBページにて告知するか、開催時に配布されます。

4 延期、中止または取り止め及び変更に関する事項

主催者は、大会の一部あるいは全部を延期、中止、または取り止めることができます。原則としては延期され、イベントの全てが取りやめになった場合エントリー費は事務手数料 (1,500円) を引いて返還されます。また、エントラント及びドライバーはこれによって生じる損失について主催者に抗議する権利を保有しません。なお、主催者はイベントの内容及び規則をシーズン途中であっても変更する権限を保有します。これに対する抗議は認められません。

第 2 章 参加に関する事項

1 エントリー費用及びレンタル費用

エントリー費用 1チーム (持込クラス) ￥50,000 鈴鹿大会は除く

2 エントリーの受け付け

- 1) エントリー受付・・・ 開催日の1ヶ月前を予定 (各コースによって手順が異なります)
r-kart受付の場合 メール受信後、1週間以内にエントリー受付確認メールを返信致します。
鈴鹿大会は2017年ESKシリーズ参加者を優先エントリーいたします。
- 2) 参加資格・・・ 健康でカートをコントロールする技能を有し、走行ルール、マナーを熟知し、安全に楽しくイベントが出来るドライバー。
年齢制限は高校生以上のドライバーで20歳以下は各チーム30%まで。
未成年者は親権者の同意が必要です。
25歳未満のSL格式以上の現役ドライバーの参加はご遠慮願います。但し、主催者が条件付で参加を認める場合もありますのでお問い合わせ下さい。
1チーム最低参加人数 3名以上 8名以下 (鈴鹿大会は6名まで)
- 3) ドライバーの登録・変更 ドライバーの登録・変更は原則一週間前までに確定。一週間前から前日まで可能ですが有料とします (@3,000)
- 4) 受理又は拒否の通知 大会開催の2週間前から開催当日を除き3日前までに代表者にメールにて発信します。
- 5) 受付場所 mailにてお申ください。entry@r-kart.jp (参加申込書等返信しますのでそれらが受取れるアドレスをお願いします。)
美浜・幸田・タカス・瑞浪 左記は各コースでの受付となります。
- 6) スポーツ安全協会 (r-club)への加入 (4月から翌年3月まで有効) が必要です。
※鈴鹿大会はSMSC暫定会員費用が必要となります、SMSC/TRMC会員の方は費用は掛かりません。
- 7) 当日参加確認に必要なもの
(a)参加申込書・誓約書の原本 (b)未払いの場合エントリーフィー及びスポーツ安全協会入会費用
(c)主催者から要請のあった書類等
- 8) 最終戦 鈴鹿サーキット南コース開催においては別途申込みの手順を案内いたします。

3 エントリーの流れ 受理と拒否 (r-kartの場合)

- 1) “エントリー受付メール”を発信いたします。その中にエントリー費用とスポーツ安全協会費用を明記いたしますので、主催者までお振込下さい。お振り込み頂いた時点でエントリー完了です。鈴鹿大会の場合はSMSC会員以外、SMSC暫定会員費用が必要となります、又メカニック登録も必要です。
美浜・幸田・タカス・瑞浪 左記は各コースからの返信となります。
- 2) エントリー完了順により、ピットガレージの位置が決まります。
- 3) 主催者は理由を示さずエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とします。この場合、エントリーフィー及び保険料は全額返還されます。
- 4) エントリーの受理は、必要事項の全てが明記された参加申込書兼誓約書およびエントリーフィー・保険加入が受付場所で受理された時点でオーガナイザーの参加承認が成立しますが、拒否の通知は開催日までに通知されます。
- 5) 一旦受理されたエントリーフィー及び保険料はいかなる理由があっても返還されません。

第3章 車両に関する事項

1 イベント車輛

スポーツカートエンジンクラス エンジン共通規則

エンジンは登録された国内で販売されている汎用4ストロークエンジンに限られます。(エンジン名称はEX21,KX21,GX200,GX270,MZ200)

※音量の制限は90db以下です。(計測方法・マフラー排気後方1m排気口横から1mの45°の場所で4000rpm時点の音量)

走行中は95db以下の車両に限ります。コース内で測定しており音量をオーバーした車両にはオレンジボールが提示されます。提示された車両は速やかにピットに戻り音量を下げる対策をしてください。音量は規定内以下に下げられない場合、走行する事は出来ません。

ガソリンはガソリンスタンドで購入できる一般市販の物に限ります。レギュラーガソリン又はハイオクタンガソリン

SPORT KART Enjoy A / B / C 共通規則 市販状態のエンジン

- 1) エンジン本体は市販状態から変更はできません。
- 2) 禁止される事項 : 点火装置・点火時期の変更、燃料計及び燃料流量計の使用
- 3) 使用しているエンジン型式内での純正パーツの交換は認められます。
- 4) ガバナ装置の取り外し、回転リミッターの取り外しは可能です。
- 5) 製造者が申請し大会事務局が公認した物の使用は可能です(性能変化が無くエンジンを保護する目的で一般販売されている物)

クラス区分

Enjoy A 市販状態から基本的に完全ノーマル	(ゼッケンベース赤に白文字)
1) 変更できるパーツは下記の通りです	
エンジンカバー プラグキャップ プラグコード プラグ ジェット類 フロントギアの歯数 ドレンプラグ	
対象エンジン SUBARU KX21/HONDA GX200SP(キャブレターの交換は不可)	

Enjoy B 2015年もてぎK-TAI規則・Enjoyクラスに準じる	(ゼッケンベースは黄に黒文字)
1) エンジン本体改造・構造は変えられません、エンジン本体以外のキャブレター・マフラー・クラッチの変更は可能です。	
2) 上記 Enjoy Aに加え変更できるパーツは下記の通りです	
エキゾーストマニホールド/マフラー インテークマニホールド/キャブレター 最大直径30φ以内	
エアクリナー クラッチ フロントギア	
対象エンジン SUBARU EX21・KX21/HONDA GX200SP/YAMAHA MZ200/HONDA GX270 (ショップ又はコースの推薦が必要です)	

Enjoy C	(ゼッケンベースは青に白文字)
対象エンジン GX200/EX21/MZ200	
1) 変更できるエンジンパーツは下記の通りです	
エンジンカバー プラグキャップ プラグコード プラグ ジェット類 フロントギアの歯数 ドレンプラグ	

上記EnjoyA又はCクラスにおいて以下の特別クラスを設けます。

実業団クラス	(ゼッケンベースは緑に白文字)
ドライバー全員が同じ会社の社員またはその家族で構成されたチーム。 ただし2017年シーズンは本クラス普及の為1名の社外ドライバーを認めます。 また資本関係のある系列会社は同一会社と判断します。 チーム名は社名+業務内容をアピールできるペットネーム(愛称)とします。	

学生クラス	(ゼッケンベースは黒に白文字)
ドライバー全員が同じ学校の学生で構成されたチーム チーム名は学校名+ペットネーム(愛称)とします。	

フレーム・その他

- 1) フレームは2007年以降にJAF又はCIKの公認を受けた車輛であること。又は主催者が認めたカート。
- 2) シャーシを保護するカウルは前後・左右とも完全に取り付けられた物であり、一次的な取付は認められません。
- 3) リアタイヤの50%以上を覆う大型リアバンパーが必備です。(CIK公認のリアスポイラーを強く推奨します)
- 4) イベント中、破損や故障による部品交換は認められます、又車両や施設などの破損代においては、自己負担となります。
- 5) 燃料タンクは純正のタンク以外認められないが、純正品がない場合、純正の同容量以内で一般市販汎用品の交換を認めます。
- 6) ブローバイガスの大気開放は禁止。
- 7) ドレンプラグ・オイルレベルゲージのワイヤーロックを必備とします。
- 8) フロントブレーキ付きフレームの参加は可能ですが、プラス5kgの車重加算をします。
- 9) ゼッケンは指定されたナンバーを前後左右に貼付けてください。なお、ゼッケンは参加者でご用意下さい。
- 10) 車両シールドから突起した部品の取付けは認められません。部品の取付けは脱落の無いよう強固に取付けてください。
- 11) サイドミラー(バックミラー)の取付けは自由です。(脱落等の無いようしっかりと取り付けて下さい)
- 12) テールランプ(赤灯)の取り付けを推奨します。(雨天等安全確保の観点から)
- 13) 予備チェーンの装着は不可とします。
- 14) 雨天時に水の吸い込み防止の為、カバー279-32643-18を取り外しペットボトル等で雨対策することを認めます。その際はスポンジの取り外しを認めます。
ただしドライ宣言が宣告された場合5分以内にピットインしノーマル状態に戻してください。

タイヤ

- 1) イベントにおいては国内レンタルカート用タイヤ1セットの使用を認めます。但し、走行に支障をきたすトラブルの場合は競技長の判断によります。
銘柄 BS:YDS(HF)・DANLOP:DFK2/DRK-SP・ADVAN:ED
- 2) レインタイヤは国内タイヤメーカーSLタイヤ及びオールウェザータイヤで自由です。危険回避のため新品タイヤを推奨します。2セットまで使用可能。
レイン宣言中以外のレインタイヤ、オールウェザータイヤの使用は禁止します。ただしレイン宣言中の使用タイヤは上記規定内で自由。

2 車輛検査

- 1) 基本は自己管理です。表彰対象車両に対しての車検を行います。
- 2) 走行前の車両検査は安全走行のための簡易検査です。本来の車両検査はイベント終了後、入賞チーム対象者に対して行われます。各自事前に車両チェック及び体重・車重チェックをお願いいたします。また、タイムアタック終了後上位チームの重量測定をします。
- 3) 非合法な部分がありながら、簡易検査で発見されない時も承認を意味するものではありません、イベント中にそれに関する疑義が生じた場合は黒旗の指示をイベント終了後に発覚した場合も失格又はペナルティの対象となります。
- 4) イベント終了後、全車15分以上の車輛保管を行ないます。
- 5) 技術委員はスタートした全ての車輛に関し車輛検査を行なう権限を有するものとします。技術委員が検査を行なう際はメカニックは責任を持って車輛の分解及び組み立てを行わなければなりません。但し関係役員、当該車輛のドライバー及びピットクルー以外は、車検に立ち合う事はできません。
- 6) 技術委員が行なう本条項の検査に応じない場合は失格となります。

3 最低重量

- 1) 登録ドライバー全員の平均体重に、車両重量を加えた重量をAクラス150kg、Bクラス155kg、Cクラス145kg以上とします。
- 2) 女性ドライバーは重量確認計測を免除し一律60kgとして算定します。(ただし免除はA・Bクラス2名、Cクラス1名までとします)
- 3) フロントブレーキ付き車両は規定重量に5Kg加算されます。
- 4) ドライバーの平均年齢が55歳を超えるチームは規定重量より5kgが免除されます。但し、40歳以下のドライバーがいた場合は無効となります。
- 5) ウェイトを積載する場合はボルトで脱落しないよう固定して下さい。

4 車両無線・携帯電話

以前から禁止事項ではありませんでしたが、イベント性を考え車両無線・携帯電話の利用を許可します。
違法無線は不可です。
器具は確実に固定され脱落の無いようお願いします。

5 服装

- 1) 服装は上下つながっているつなぎ(長袖、長すそ)以上を原則とします、グローブを着用(軍手は不可)、シューズは運動靴。カート用レーシングスーツ着用を推奨します。シューズはくるぶしまで隠れる物を推奨します。
- 2) ヘルメットはフルフェイスを着用します。(オートバイ用も可能です)ジェット型等、顎を保護する物が無いものは不可
- 3) リプロテクター及びネックガードの装着を強く推奨します。ご自分の体はご自分でお守りください。

第4章 イベントに関する事項

1 信号(フラッグ)

イベント中ドライバーに対する走行指示は、下記の種類の旗に従い行われます。

フライングに対してはピットペナルティを課します。

- ① 黄旗(振動) 危険信号。速度を落とせ。追い越し禁止。
1本振動:トラックわきあるいはトラック上の一部に危険箇所がある。
2本振動:進路変更あるいは停止準備。全面的または部分的にトラックが閉鎖されている。
- ② 緑旗(振動) トラックが走行可能(クリア)である。
黄旗表示が必要となった事故現場の直後のポストで提示される。(黄旗の解除)
緑端を振らない場合もあります。その場合、当該現場直後に解除。
- ③ 白旗(振動) 当該ポスト管理下にあるトラック区間に相当低速な車両が存在している。
- ④ 赤旗(振動) イベント・走行中止。追い越し禁止。
すべてのドライバーは直ちにイベントを中止し、細心の注意を払いながら必要に応じて停車できる状態でホームストレート上もしくはイベントにて指定された場所に進行すること。停車後の車両への作業は一切禁止する。
- ⑤ 青旗(振動) 予選中:自分を追い越そうとしているより速い車両に進路を譲れ。
決勝中:周回遅れにされようとしている。なるべく早い機会を捉えて後続の車両を先行させる事。
- ⑥ 黒と白のチェッカー旗振動 イベント・走行終了
- ⑦ 黒旗 表示された数字の車両は次にピット入り近くにいた時にピットもしくは、イベントで指定した場所に停止しなければならない。
- ⑧ 黒と白に斜めに2分割された旗 スポーツ精神に反する行為をしたドライバーに対する警告。
- ⑨ 赤の縦縞のある黄旗 トラック上にオイルまたは水があるために粘着性が低下している箇所がある。(路面が滑りやすい。)
- ⑩ 橙色の円形のある黒旗 車両に機械的欠陥があり危険、表示された数字の車両は次の周回時に自己のピットに停止しなければならない。

2 公式練習及びタイムアタック

- 1) 全てのドライバーは、タイムスケジュールに定められている時間内、公式練習に参加して下さい。
- 2) 公式練習後タンク内のガソリンを全て抜き、決勝前に指定されたガソリン量を注入する必要があります。
- 3) 公式練習直後、上位車両に対して車重チェックをする場合があります。

3-1 スタート

- 1) 信号によるブラックアウトにてスタートですが、台数などによって一列隊列によるローリングスタートになる場合があります。
グリッド順は練習走行兼予選で決定しますがコースによっては独自の方式によって決定する場合があります。
- 2) 指定時間内にスターティンググリッドにつけなかった車両、及びエンジンをストップしてスタートできなかった車両はピットにて修理した後、コース員の指示によってピットからのスタートとなります。
- 3) タイムアタック及びスタートはチーム内最重量のドライバーが務めます。イベント前にスターティングドライバーには指定の腕章を渡す事もあります。
- 4) スタート進行手順はドライバーズブリーフィングで説明します。

3-2 スタート時の給油量

- 1) クラス公式練習終了後にタンクを空にして下さい。
- 2) スタート時の給油量はAクラスは4L、Bクラスは2L、Cクラスは6Lとします。
- 3) イベント中の給油量は **13.給油** を参照ください。

4 出走台数

- 1) イベントの最大出走台数はコース毎に決定されます。

5 イベント中のルール(レーシングカートのルールは適用せず、わかりやすくイエローカード制を適用します。)

(レーシングカートのルールは適用せず、罰することが目的ではなく最後までルールを守って頂き、完走した喜び・カートのおもしろさを理解して貰うためイエローカード制を適用します)

- 1) コーナーは常に先入優先とし、追い抜きを行なう者は前方のカーターの走行を妨害してはならず、また前方のカーターは後続車の進路を妨害してはなりません。
- 2) コース員が反則または妨害行為(故意なプッシング、ブロックングその他の非スポーツマン的行為)とみなした者については、イエローカードを発行します。
- 3) コースインする場合、ホワイト及びイエローラインをまたがず、指定地域まで走行ラインをキープして下さい。
- 4) いかなる場合も、定められた方向と逆に走行してはなりません。(ピットエリアも含む)
- 5) イベント中は、やむを得ない場合を除きコースを外れてショートカットすることは認められません。
- 6) 故意にコースから車輛を離して走行することはショートカットとみなされます。
- 7) 衝突を避ける為にやむを得ずコースアウトした場合は、その最も近い場所から安全を確認して再びイベントに復帰して下さい。
- 8) イベント中にコースエリア内で停止してしまった場合、他のドライバーに自分が動かないことを示し、それらが過ぎ去ってからカーターをイベントの障害とならない場所に移動しなければなりません。但し、他を妨害することなく自力で再スタートできる場合にはイベントに復帰できます。
- 9) コース上での再スタートはドライバー自身で行なわなければなりません。(女性・子供の場合、援助する事もあります)
- 10) イベント中にゼッケンまたはゼッケンプレート及び計測器が脱落等で判読不可能となった場合は、周回が記録されないことがある為チームにおいて確認チェックする必要があります。計測器を紛失した場合所定の費用が掛かります。
- 11) ドライバーは工具等を携帯することはできません。また工具を取りにピットへ戻ったり、ピットクルーがコース内に立ち入って作業することはできません。
- 12) ドライバー交替やピット作業は決められた場所で行なわなければなりません。
- 13) イベント進行中、定められた場所から出たカーターはイベント放棄したものとみなされ、再びコースに入る事はできません。
- 14) 事故や接触に見舞われたカーターは、オフィシャルによって検査のために停止を命じられることがあります。

- 15) 本イベントは、不適当もしくは危険とみなしたカート及びドライバーを除外する場合があります。
- 16) トラックとピットロードを区分するクラッシュパッドに接触しないよう。接触した場合は安全走行義務違反として、ペナルティの対象となる事があります。
- 17) 極端な燃費走行は禁止します。チームベストラップから30秒遅れを目安とします。

6 ペナルティ（安全にイベントを進行、完走する事が目的のためペナルティ制度を導入します）

イエローカード イエローカード2枚で120秒のペナルティストップ

- 1) ブッシング
- 2) 無理な割り込み
- 3) ブロッキング
- 4) ピットロードでの徐行無視・追い越し・ピット内の制動時タイヤ鳴き
- 5) フラッグ（信号等含む）無視
- 6) コース外走行やコースアウト時での無理な復帰・スピン後の無理な復帰
- 7) パドック内での喫煙（指定場所をお願いします）
- 8) 上記以外オフィシャルが判断した場合。

オレンジカード又は相手に損害を与えた場合 1枚で120秒のペナルティストップ

- 1) スポーツマンルールに反した場合
- 2) オフィシャルが判断した危険な行為
- 3) ドライバーとしての義務を怠った場合

その他

義務ピット回数不足は1回につき10LAP、重量規定違反は20LAPの減算とします。

ペナルティの説明

- A) ペナルティが重なった場合、周回数の減算又はピットストップペナルティ又は当該のドライバーへ失格が課せられる事があります。
- B) ペナルティ時は該当車両に対し黒旗が掲示されるかチーム代表者が呼ばれ、上記ペナルティを受けます。
- C) その他の危険と判断されるペナルティ・失格の適用は以下の通りとします。
進路妨害、逆走、フライング、ピットアウト時の進路妨害、安全走行義務違反、ピット作業違反、イエロー（ホワイト）ラインカット、危険行為、その他。
- D) 失格・危険行為、故意にオフィシャルの指示を無視する行為、その他悪質な行為を行ったドライバーは失格となります。
- E) ペナルティは累積される為、走行中のドライバーがそれ以前のドライバーの起こしたイエローカードの累積でペナルティストップや減算を受ける事があります。
- F) ペナルティは競技長の判断により、軽減したり加算される事も有ります。
- G) エンジンスペアプレームにのせかえる、最低走行時間違反、ダブルチェッカー（チェッカーフラッグを2度受けること）などの行為に関しては競技長の判断によりペナルティが課されます。

7 セーフティカー（以降SC）及びフルコースコーション（コースの都合により導入されない事もあります）

トラブル発生時に競技委員の決定によりSCが介入する。その時は「SCボード」+「黄旗（振動）」はメインポストで掲示し、SCコースイン後は原因車両は自走してピットに戻ることを禁止します。

- ・セーフティカー導入フルコースコーション宣言後、ピットに入った車両は宣言解除までピットアウトできません。給油中の車両はオフィシャルの指示によってコースへ復帰できます。（フルコースコーションの時間が伸びた場合、安全を確認後オフィシャルの指示によってコースへ復帰できる事もあります。）
- ・フルコースコーションは以下の順に行われます。

- A) フルコースコーション宣言、SC介入決定後、メインポストは「SCボード」+「黄旗（振動）」及び黄色のシグナルコーションランプ（点滅）を掲示し、SCが先頭車両に関係なくコースインします。全ての車両はセーフティカーを先頭に1列に整列しなければなりません。その間の追い越しは禁止です。
※SC人員やコースの都合が揃った場合、SCの指示によりイベントの先頭車両がSC直後に来るまでその他の車両を追い越しさせ、整列する事もあります。
- B) トラブル等で隊列について行けなくなった場合は、後続車に片手を上げ合図を送りラインをはずして走行して下さい。
- C) フルコースコーション時において車両はピットに入ることができます。但しその場合はピットアウトできません。SCがピットインした後にオフィシャルの指示の元にピットアウトできます。
- D) SCがピットインしメインポストで緑旗が振動表示されたら、コントロールラインよりフルコースコーションは解除されます。その時コントロールライン手前での追い越しは禁止します。
- E) SC導入中は規定されている走行時間制限は含みませんが、SCがコースイン後、速やかにドライバー交代をして下さい。

ブッシングカートを導入するコースがあります。

- 1) コースアウトやチェーン切れの車両に対して、ブッシングカートを導入することがあります。ドライバーは安全な位置に車両を移動して下さい。
- 2) 動けなくなった車両はコントロールタワーやポストに向けて手を高く振って助けを求める意思表示をして下さい。
- 3) ブッシングカートの導入時は白旗を提示します。
- 4) ブッシングカートが到着してからドライバーはカートに乗り、そのカートをブッシングカートが押してピットに戻ります。
- 5) ブッシングカートは目立つよう車両後方に黄旗を掲げていますが、近づかないようお願いします。

ニュートラリゼーションを導入するコースがあります。

- 1) ニュートラリゼーションとは・・・https://www.eikoms.com/result/2015/Neutralization_2015_V2.pdf
ニュートラリゼーション宣言後、ピットに入った車両・給油中の車両についてはフルコースコーション時と同じとする。
ニュートラリゼーション中、先頭車両はペースをコントロールする義務があります。

8 ピットイン・ピットアウト及び回数（ドライバー交代）

- 1) 一人のドライバーが連続して40分以上走行する事は禁止します。また最低10分以上の走行を義務付けます。
- 2) ドライバーや車両に不具合の有った場合、ピットインは可能ですが車両重量の計量ドライバーから除外することがあります。（その後に走行であれば問題ありません）またチェッカー前の交代で義務周回を満たさなくてもカウントしません。
- 3) ドライバー交代は指定の場所で交代する、その場合交代の申告をする必要があります。（その時のピットタイム制限時間はありません）
- 4) ピットエリア内安全スピード30km走行。危険と見なされたスピードを出している車両にはイエローカードかピットスルーペナルティが課せられます。
- 5) 参加ドライバーはイベント走行時間の最低10%を走行する義務があります。（5時間イベントの場合、最低30分以上）
- 6) 給油以外に5回以上のドライバー交代を義務付けます。

9 ドライバーサイン

ドライバーサインは次の通りとし、これを怠った者に対してはペナルティを課することがあります。

- 1) コース上で停止した場合は、両手を高く上げ、他の走行車両に合図する。
- 2) ピットイン、ピットアウトする場合は、他車にわかるよう片手を頭上に高く上げる。

10 完走者と順位の設定

- 1) 完走者とは、イベントの着順1位の者がコントロールラインを通過しチェッカーを受けた後に5分以内に自力で同ラインを通過しチェッカーを受けるか、トップチームの周回数の60%以上走行したチームとします。
- 2) 「自力」の定義は、他のいかなる人の援助も受けずカート自身のもつ動力のみによりコース上を正しい方向に進行できる状態をいいます。
またコントロールラインを通過する際には、ドライバーとカートは一体となっていなければなりません。
- 3) コントロールライン通過後チェッカーを受けたドライバーは徐々にスピードを落とし（追越禁止）コースを走行してピットインしなければなりません。
- 4) 順位はコントロールラインを通過した周回数に基づく完走者で、チェッカーを受けていない車両はチェッカーを受けた車両の後に順位を確定します。
- 5) 規定の時間を終了する以前に誤ってチェッカー旗が表示された場合は、その時点をもってイベント終了とします。また遅れて（時間又は周回数）チェッカー旗が表示された場合は、チェッカー旗とは無関係に、イベントは規定の周回数で終了したものとして順位が決定されます。
- 6) チェッカー予定時間10分前からの救済（ブッシングカート・セーフティカー等）はしません。走行不能となった場合、ドライバーはマシンをコース外の安全な場所に止めチェッカーまでその場で待機してください。その際ヘルメットは外さないでください。

11 ウイナーズハンディキャップ

各イベントの入賞チームは次回イベント参加時にウイナーズハンディキャップとして以下のハンディを課します。

- 1位：無給油のピットストップを2回追加 2位：無給油のピットストップを1回追加 3位：ドライバー交代を1回追加
最終戦においてもこのウイナーズハンディキャップを適用します。

12 ピット及びパドック内におけるルール

- 1) ピットクルーの行為に関する最終的な責任は、チームに帰属します。ピットクルーによる規則の違反は当該ドライバー（チーム）に対する黒旗の提示となることがあります。登録されていないチーム関係者も同様とします。
- 2) ピットエリア内における火気の使用は全て禁止します。
- 3) 燃料の持込みはすべて消防法により認められた金属製の携行缶に保管して下さい。
- 4) パドック内での走行は30km以内の徐行です。（危険と思われるスピードはイエローカードの対象）
- 5) パドック内での喫煙は指定喫煙所を除き厳禁とします。これに違反したドライバー及びピットクルー・関係者はイエローカードの対象となり大会から除外される場合もあります。

13 給油

- 1) 給油は所定場所以外での給油は禁止します。
- 2) ドライバー交代及び給油以外の作業は禁止します。また、給油作業は交代するドライバー2名と給油係1名の合計3名で行って下さい。
- 3) 給油は大会指定の2L缶にて行います。
- 4) 給油タイムはEnjoy A/B/C共に180秒のピットストップタイムが義務付けられます。
- 5) 給油所は基本的に1レーンでコースによって最低3台の給油場所を設けます。（コースにより台数が増えることがあります）
- 6) 規定台数が給油をしていた場合、給油レーンに入らずスルーを行うこともできます。
- 7) 給油レーンに入った場合スルーはできません、規定台数以下になるまでその場で待機となりタイムカントは進みません。各車両入場タイミングを選んで下さい。
- 8) 2L缶は給油所で計量を行います、ガソリンの比重は約0.75なので2Lの場合1.5kgです、缶の重さが約950gなので2.5kgで計量します。
- 9) チームは事前に計量して給油に備えて下さい。
- 10) 消化器を各チームで用意することを推奨します。
- 11) 給油後、走行後のドライバーに対して抜き打ちで重量チェックを行う事があります

14 抗議

エンジョイスポーツカートシリーズはイベントのため、抗議は受け付けません。

15 クレデンシャル（コースによって無い場合があります。）

- 1 チームに対して規定の入場クレデンシャルパスを配布します。
- 1 チームに対して規定の腕章を配布します。

第5章 成績及び賞典に関する事項

総合順位に賞典及びシリーズポイントが付与されます。

シリーズポイントは下記のとおりとし、完走したチームに与えられます。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位以降	DNF
ポイント	25	20	17	15	13	11	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

参加台数によって表彰されるチーム数が決まります。

シリーズポイントの裁量は事務局にて判断させていただきます。

シリーズポイントは5戦中4戦を有効とします。

シリーズ特別賞としてドライ・レインタイヤ共にADVANTAYYAを使用したイベントのポイント合計が最多のチームに《ADVANTAYYA賞》としてK-TAI2018のエントリー費をサポートします。シリーズポイント同様5戦中4戦を有効とします。またこの権利は譲渡販売はできません。

実業団クラス・学生クラスは2台以上で賞典の対象となります。

第6章 損害補償

オーガナイザー及び大会役員の業務遂行によって起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷及び車輛の損害に対して、主催、後援、協力、協賛するもの及び大会役員は一切の保証、責任を負わないものとします。

第7章 広告に関する事項

ナンバープレートに広告を表示することは認められません。また、参加車両の広告についてオーガナイザーは次のものに関して抹消する権限を有します、ドライバーはこれを拒否することができません。

- 1.公序良俗に反するもの
- 2.政治・宗教に関連したもの
- 3.本大会に関係するスポンサーと競合するもの

第8章 保険・共済会

r-club〔（財）スポーツ安全協会〕

- 1) r-kartのスポーツ安全保険にご加入下さい。Enjoy Sport kart全戦で適応します。この保険は財団法人 スポーツ安全協会が主管する保険で日本サッカー協会をはじめ国内の多くのスポーツ団体クラブが加入している保険です。加入は事前に行い、4月から翌年の3月までの期間単位で一度加入するとr-kart共催イベント全てに対応します。年間保険料は¥3,000です。詳しくはwww.r-kart.jp、r-clubにてご確認ください。
- 2) イベント中、事故等で怪我などした場合は、必ず参加コースの指定病院のドクターの診察を受けて下さい。ドクターの診断がないと保険が適用されない場合があります。
- 3) 鈴鹿大会においては当年有効なSMSC・TRMC会員以外はSMSC暫定会員に入会する必要があります。

その他

- 1) この特別規則書に定める項目は、安全や公平性及び、大会の目的と合致する場合、変更することがあります。変更する場合r-kartのホームページ又はフェイスブックページにて発表致しますが、大会当日フリーフィングで伝える事もあります。
- 2) 開催コースによっては、この特別規則書に無い規則や新たな規則等もあります、その場合、開催コースの規則が優先されます。
- 3) 競技に関する最終判断は競技長に委ねることとします。